

The 25th Anniversary

JAPAN TENT

— 世界留学生交流・いしかわ2012 —

皆様に支えられています

ホストファミリー募集

..... Welcome to わが家

平成24年8月26日(日)～29日(水)の3泊4日

実施地域:金沢市内およびその近郊

話してみてください、聞いてみてください。

愛するふるさと石川のこと、知らない国のこと、きっと新しい発見があるはずです。
もっと多くの方々に感動していただきたいという思いを込め、ホストファミリーを募集します。

ジャパンテントを支えるのは皆様です。ぜひ、ご応募ください。

石川のお父さん、お母さん
家族になりませんか？



ホームページからも
お申し込みできます！

<http://www.japantent.com>



Facebook ページ

[facebook.com/japantent](https://www.facebook.com/japantent)

「第25回記念 JAPAN TENT」プログラム(予定)

	月・日	時間	プログラム	場所
加賀・能登プログラム	8月23日(木)	8:00~11:30 13:00~ 15:00~	留学生が全国から金沢入り 受付・登録・オリエンテーション ● 歓迎式典 留学生は加賀・能登地区の16市町へ移動 (各市町で歓迎セレモニーや ホストファミリーとの対面式などを行う)	金沢市内 北國新聞 赤羽ホール
	8月24日(金) 8月25日(土)	終日	● 市町プログラム(フリータイム) ※各地で特色を生かした交流事業を実施	県内16市町
金沢(野々市・内灘を含む)プログラム	8月26日(日)	午前 10:00~12:00	県内16市町から金沢へ NPO法人ジャパンテント・ネットワーク主催 ● 「ウエルカム石川茶会」 茶会会場で金沢・野々市・内灘の ホストファミリーとの対面 〈午後はフリータイム〉	金沢市内
	8月27日(月)	9:00~	● JAPAN TENT夏期大学 金沢職人大学校 (金箔、和菓子、加賀手まり等の伝統文化を各コースに 分かれて実習体験) 〈午後はフリータイム〉	金沢市内
	8月28日(火)	14:00~16:30 17:30~20:00	〈午前はフリータイム〉 ● JAPAN TENT夏期大学 留学生国際シンポジウム JAPAN TENT参加留学生メッセージ JAPAN TENTアピール2012 ● JAPAN TENT in 金沢 (ステージイベントと「世界の料理屋台」)	北國新聞 赤羽ホール しいのき 迎賓館 石の広場
	8月29日(水)	11:00~11:30	● さよならセレモニー 留学生それぞれの帰路に	石川県庁19階 展望ロビー

※開催内容は予定ですので、変更する場合があります。



我が子同様に可愛く思えた

初めての受け入れで、言葉や食事のことが不安でしたが、実際は日本語が上手で、普段通りの生活ができました。これまで遠い存在に思っていた留学生を迎え入れ、共に生活できたのは貴重な体験です。我が子同様に可愛く、別れが寂しく、涙が出ました。やってみてよかったです。
茂藤 健治 (川北町)




こんどはぼくがブラジルに行きます

ぼくの家にブラジルの人がきました。ブラジルといえば、肌の色が濃いイメージだけど、ミカリンは、日けい人ではだが白かったです。遊んでいるとすぐ3日たって、おわかれの日がやって来ました。最後に、ブラジルの国旗を思い出にもらいました。次はぼくがブラジルに行って、ぼくがこうかんするばんだと思います。

浦田 祐作 (金沢市田上小4年)

金沢(野々市・内灘を含む)プログラムでの
ホストファミリーのスケジュール(予定)

<p>8月26日(日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ウエルカム石川茶会会場で留学生と対面(午前) ホストファミリーの皆さんは、加賀・能登地区から金沢入りした留学生と対面します。ウエルカム石川茶会のあと、留学生を連れて帰宅し、それぞれのお宅で一緒に過ごしていただきます。 <p>〈午後はフリータイム〉</p>
<p>8月27日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『金沢職人大学校』(午前) 留学生に石川県の優れた伝統工芸や伝統文化を学んでもらうため、各コースで体験学習する「金沢職人大学校」を行います。なお、コースによってはホストファミリーの皆さんも一緒に体験できます。 <p>〈午後はフリータイム〉</p> 
<p>8月28日(火)</p>	<p>〈午前はフリータイム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●『留学生国際シンポジウム』を実施(午後2時～) ホストファミリーでご希望の方は留学生と一緒に聴講できます。 ●『JAPAN TENT in 金沢』に参加(午後5時半～) 夕方から、しいのき迎賓館石の広場で「JAPAN TENT in 金沢」が開催されます。世界各地の料理を紹介する「世界の料理屋台」などのイベントやコンサートがありますので、留学生と一緒にご参加ください。午後8時には終了しますので、留学生と一緒に帰宅してください。
<p>8月29日(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『さよならセレモニー』の後、留学生は帰路に この日、留学生はすべてのプログラムを終えて、それぞれの留学先へ帰っていきます。「さよならセレモニー」を午前11時から金沢市内で行う予定です。

※以上は予定であり、変更する場合がありますのでご了承ください。
 ※一部の公共施設は、留学生と留学生に同伴するホストファミリーは、無料となる予定です。
 (例)いしかわ動物園、兼六園、県立歴史博物館、市立安江金箔工芸館など
 ※第25回記念JAPAN TENT全体のプログラムの中で行われる歓迎式典やシンポジウムのご案内もさせていただきます。
 ホームステイだけでなく、幅広く、さまざまな国の文化に触れることができるチャンスです。ぜひご参加ください。

声
ホストファミリーの

昨年(2023年)の第24回でホストファミリーを経験した方々の感想をご紹介します。



毎年、新しい出会いがある

毎年の恒例行事になっています。今年も素晴らしい留学生と出会えました。うちは若い世代の家庭なので、昔ながらの日本らしさや文化体験はできませんが、家族の一員として楽しく過ごしてもらっています。毎年、新しい出会いがあり、可能な限り、続けていきたいと思っています。

建部 孝敏(白山市)

留学生の国の料理を一緒に作る

これまで仕事が忙しくできませんでしたが、定年を迎え、時間的な余裕ができたので引き受けました。2人とも良い留学生で、お互いの国の状況や家族について語り合いました。2日目の夕食は留学生の国の得意料理を一緒に作りました。特に好き嫌いもなく、苦労しませんでした。

高地 泰郎(輪島市)

留学生の国にも行ってみたい

初めてで、外国人と接するのはためらいもありましたが、留学生の2人と仲良くなったことで、これからは積極的に国際交流したいと思います。今後も連絡を取り合い、相手の国にも行ってみたいです。受ける前は不安でしたが、何も心配することはありませんでした。

東藤 一也(加賀市)

素晴らしい体験ができた

お互いに初めての参加で、手探りの日々でしたが、日本語も性格も申し分のない留学生でした。「日本が感じられた場所、金沢らしい場所」を回った以外は、家での夕食の支度や会話がほとんどでした。子供が留学生の国のことを調べたり、聞いたりして、子供のためにもなったと思います。素晴らしい体験ができました。次回も宜しくお願いします。

山森 洋一(内灘町)

ホストファミリー募集

第25回記念 JAPAN TENT —世界留学生交流・いしかわ2012—

平成24年8月23日から8月29日まで、日本で学ぶ世界各国・地域からの留学生300人が石川県に集い、金沢をはじめとした各地で、「第25回記念JAPAN TENT-世界留学生交流・いしかわ2012-」が開催されます。

開催委員会では、留学生が金沢に滞在する間、家族の一員として迎えていただけるホストファミリーを募集しています。

留学生のほとんどは日本語が話せます。立派な客部屋はいりません。洋式トイレがなくても結構です。特別な料理やベッドも必要ありません。初めてのご家庭でも全く心配ありません。

ジャパンテントでは、これまで数々のドラマを生み出してきました。もっと多くの方々にこの感動を、という思いを込め、今年もホストファミリーを募集します。

この夏、あなたも世界の友達づくりにチャレンジしてみませんか！

※受け入れ期間中、所定のプログラム、イベントへの送迎をお願いいたします。ただ、ご無理な場合は留学生にバスなどの交通手段を説明し、留学生本人の料金負担で行き帰らせていただいても結構です。仕事等でフリータイムに留学生の相手ができない方も、お気軽に事務局にご相談ください。

1.募集要項

- ①金沢でのホームステイ期間
平成24年8月26日(日)～29日(水)の3泊4日
- ②地 域
金沢市内およびその近郊
- ③ホームステイに来る方
日本の大学で学んでいる世界各国・地域からの留学生
- ④条 件
特にありませんが、できれば1家庭2名以上のお引き受けをお願いします。(1名でも歓迎します)
- ⑤記念品
留学生を受け入れたホストファミリーには記念品を贈ります。

2.申込方法

下記の申込書にご記入のうえ、JAPAN TENT 事務局まで提出されるか、またはFAX、お電話でお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。www.japantent.com

3.その他

8月中旬にホストファミリーを対象とした説明会を開きます。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

JAPAN TENT 開催委員会事務局 担当 西川

〒920-0919 金沢市南町2番1号 北國新聞会館2階 TEL 076-260-3470 / FAX 076-260-3469

第25回記念 JAPAN TENT ホストファミリー申込書

(フリガナ) 申込者の氏名		性 別	男 ・ 女
		[TEL]	— —
		[携帯]	— —
住 所	〒 —		
メールアドレス			
昼間の連絡先		[TEL]	— —
希望事項 (喫煙・飲酒等)		受入希望人数	人
		留学生の性別希望	男・女・不問
		過去受け入れ	有 ・ 無 ()回
家族構成 (年 齢) 例:本人(45)・妻(43)...		ペット (種類=)	有 ・ 無 (屋内・屋外)

※なお、家族構成、希望事項については、留学生との組み合わせの参考とさせていただくものであり、それ以外の目的には使用しません。

JAPAN TENTホームステイの手引

■ 心構え

JAPAN TENTには、日本を、石川を、知りたいたいと思っている世界各国から日本に留学している学生が参加します。

留学生を、家族の一員という気持ちで温かく迎えて下さい。「お客様」扱いや特別な準備をしたりする必要はありません。外国人が来るからといって特に緊張することはありません。一緒に食事をしたり、おしゃべりをしたり、散歩をしたり、遊んだりしながら、家族ぐるみの交流をするのがホームステイです。(ホームステイは、お金のやりとりを伴わないボランティアです。)

■ あいさつ

初めて留学生に会うときは、とても緊張するものです。でも留学生も実は期待と不安のためにもっと緊張しています。それまで一緒にいた同じグループの仲間と離れ、初めて出会う人達と数日間を過ごすことになるからです。

初対面のあいさつは、普通の日本のお辞儀のあいさつで充分です。このとき自然な笑顔で接することで、あたたかい心の交流が生まれます。

握手は必ずしも世界共通のあいさつではないので、無理に握手することはありませんが、留学生のほうから握手を求めてきたら、右手で握手をして下さい。左手を不浄と考える人達(イスラム教徒、ヒンドゥ教徒など)もいるので、握手や受渡しのときに、左手を使わないように注意しましょう。

■ お互いの紹介

日本語や片言の英語で構わないので、家族みんながひとりひとり留学生に話しかけることで、より歓迎の気持ちが伝わります。

■ 家の中の案内

初対面のあいさつがすみ、ひとしきりおしゃべりがはずんだあとは、家の中を案内しましょう。私たちににとっては当然のことでも外国人にはわからないこともあるでしょう。

トイレ 和式のトイレを使うのは初めてかもしれません。とまどっているようでしたら、詳しく教えてあげましょう。



お風呂 湯船の外で体を洗ってから入ることや、お風呂の栓は使った後も抜かないでおくことなどを説明して下さい。外国人の多くは、自国で水やぬるま湯のシャワーを使っているため、日本のお風呂の温度は、熱過ぎると感じる人が多いようです。また、人と一緒にお風呂に入る習慣のない国も多いようです。

泊まる部屋 留学生が泊まる部屋は個室でも、そうでなくても構いません。眠るとき以外に、たまに30分か1時間くらい、ひとりの時間を作

ってあげるのもよいでしょう。手紙を書いたり、お祈りをしたりする自由な時間が必要なこともあります。たまにそっとしておいてあげることも心づかいのひとつであり、お互いが疲れなためにも良い方法です。



■ 食事

普段の家庭料理を食べさせてあげて下さい。「お客様」のための特別な料理よりも、家族全員で楽しく食事することが最大のおもてなしです。ただ、気をつけていただきたいのは外国人である留学生には食べることのできないものもあるということです。個人差はありますが、生魚(刺身、寿司)、生野菜、よく火が通っていない肉類、納豆などの日本独特のものが食べられないことがよくあります。また、飲酒の習慣が日本より少ない国のほうが多いようです。

そして、とても大切なことは、宗教やアレルギーのために食べられない物は、決して出さないということです。

■ 食後

最初の日は、留学生は緊張のため疲れていても、自分からは言い出しにくいものです。その日の夜は少し早めに休ませてあげることも心づかいのひとつです。

それまでは、話をしたり、テレビを見たり、ゲームをするなど交流をもち、翌日のスケジュールは、留学生の希望も可能な限り取り入れながら決めましょう。ゆったりとした計画のほうが無理がなくてよいようです。

■ お手伝い

留学生が手伝いを申し出たときは、気軽に手伝ってもらって下さい。一緒に何かすることが、家族に早くとけこむきっかけにもなりますし、「お客様」でいることが留学生にとって心苦しいこともあるでしょう。

お国料理を家族のために作りたいと言うこともあります。留学生が自国のことをホストファミリーに紹介するととても良い機会です。どうぞ作らせてあげてください。

■ 外出にかかる費用

この費用もホストファミリーに負担をお願いしています。

あまり遠出をすることはないと考えられますが、もしも留学生が希望して遠い場所へ行くことになり、交通費がかさむようでしたら、留学生に交通費を負担するようにお伝えください。

なお、JAPAN TENT開催期間中は、通常有料の美術館、博物館、公園などで、参加留学生と同行する場合は無料となる施設がありますので、時間があれば見学してもよいでしょう。

■ 神社やお寺の見学

留学生の中には、信仰心が強いために、日本人のように気軽に神社やお寺や教会に行けない人もいます。その敷地内に足を踏み入れるだけでも、強い抵抗を感じる人もいます。(特にイスラム教徒にその傾向が強い)。観光として建築物を見ることは抵抗ないけれども礼拝(神社の入り口の手水で手や口を清める、線香をあげる、拍手を打つなど)はできない人や、まったく気にせず楽しめる人まで、さまざまです。出かける前に、留学生の意見を素直に聞いてあげてください。

■ 宗教のこと

宗教に対する態度は様々であり、どこにいても戒律を厳密に守ろうとする人、あまり戒律にとらわれない人など、同じ宗教を信じていても、戒律の守り方は国や人によってそれぞれ違います。以下に、一般的に気をつけていただきたいことをまとめました。

☆イスラム教徒について

- ・食 事…豚肉を食べることは戒律によって禁じられています。他の肉は、ハラルミートというイスラム教の儀式により屠殺された肉しか食べない厳格な人もいれば、ハラルミートは日本では手に入りやすいため旅行中に限っては、日本のふつうの鶏肉や牛肉を食べる人もいます。海産物、乳製品、卵は食べることができます。
- ・飲 酒…戒律によって禁じられています。
- ・犬………犬はイスラム教では、不浄とされており、触ることが禁じられています。人によっては見るだけでも嫌がることもあります。庭で犬を飼っている場合は、ずっとつないでおくのもよいでしょう。
- ・お祈り…原則として、1日5回のお祈りをするようになっていますが、旅行中であるなどのやむを得ない事情があれば、回数を減らすこともできます。お祈りは普通、10分程度で終わりますが、お祈り中は話しかけたりして、中断させないようにしてください。
- ・失礼なこと…左手は不浄の手とされているので、左手で握手をしたり、物を渡したりしないよう気をつけましょう。人差し指で人を指すのも失礼とされています。

☆ヒンドゥ教徒について

- ・食 事…牛は神聖な動物とされているので、牛肉は食べません。普通は鶏肉などは食べますが、ヒンドゥ教徒の中には、肉食主義者も多く、人によって食習慣は様々です。(肉食主義:肉全般、魚、卵、チーズ、ミルクなどの動物性タンパク質を食べない完全肉食主義者から魚やチーズなどなら食べられる部分肉食主義者まで、人によって幅があります。完全肉食主義者の場合でも、温野菜、てんぷら、揚げ豆腐、ポテトフライ、昆布だしの野菜の煮物、サラダ油を使った野菜や豆のいためもの、野菜コロッケなどなら大丈夫。)
- ・飲 酒…特に禁じられていません。
- ・失礼なこと…ヒンドゥ教でも左手は不浄とされています。

☆シーク教徒について

- ・食 事…ヒンドゥ教徒と同じように、牛肉を食べません。まったく肉を食べない菜食主義者もいます。
- ・飲酒・喫煙…ともに禁じられています。
- ・失礼なこと…シーク教でも左手は不浄とされています。
- ・その他…普通、シーク教徒の男性は、髪を切らずにのばし、クシでよくとかしてターバンできちんと巻くことになっています。

☆キリスト教について

一般的には、特に気をつけることはありません。数としてはそれほど多くはありませんが、セブンスデー・アドベンティスト(安息日再臨派)のように、ある種の魚介類を食べない宗派もあります。

☆仏教徒について

一般的には、特に気をつけることはありません。たまに牛肉を食べない人や飲酒をしない人がいます。人間の頭には精霊が宿るとの考えから、人の頭をなでることを非常に嫌う国(タイなど)もあります。



■ お土産

自国の習慣によっては、ホストファミリーへのお土産を持参する留学生もいますが、留学生へのお土産は持たせる必要はありません。家に招かれ、食事をいただき、ともに過ごせたことで、充分すぎるほどのもてなしをすでに受けています。それ以上は、どうぞ気をつかわないでください。

どうしても、お土産を持たせたいと思う方は、家族の手作りの品や写真など記念になる小さな物をお願いします。過去の例になりますが、高価な物をプレゼントされ、心苦しく感じた留学生もいます。

留学生にとっても最大のお土産は、皆さんとの温かい思い出なのです。

■ 末永いおつきあいを

ホームステイのあと、手紙のやりとりをしたり、留学生の母国を家族で訪問したりするなど、交流を続けているホストファミリーもたくさんいます。この出会いを大切にして、是非交流を続けて下さい。ただし、ごく稀にお礼状を出す習慣のない人や、お世話になった人にでなく、別の人(母国で会う日本人など)に親切にすることで礼を返す人もいます。もしもお礼状が来なくても、文化の違いと考えてあげてください。

